

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 専攻科医療心理専攻 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|--|------------|-----------------|---|----------------|-----------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 認定心理士対策演習Ⅶ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 専攻科医療心理専攻 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 加藤 裕史 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 認定心理士の単位を取得するために必要な心理学と周辺領域の科目を取り扱い、必要に応じて柔軟に内容を調整しながら知識の深化と定着ができるようになる。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 試験素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10% その他提出物等を勘案し総合的に評価する | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| ＜参考図書＞ 心理学検定基本キーワード集(日本心理学諸学会連合) 公認心理師必携テキスト(学研) 等 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 参考資料や授業で紹介された著作を積極的に読み、主体的な学習をすることで不足する部分を補うことが望ましい。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 大手前大学現代社会学部の通信教育カリキュラムにおける認定心理士の科目を中心に取り扱う。2級キャリアコンサルティング技能士の受験資格にもかかわる部分なので、丁寧に学習してほしい。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第2回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第3回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第4回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第5回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|----------------|-----------------------------|
| 第6回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第8回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第9回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第10回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第11回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第12回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第13回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第14回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第15回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 専攻科医療心理専攻 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
|--|------------|---------------------|---|----------------|---------------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 認定心理士対策演習Ⅶ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 専攻科医療心理専攻 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 加藤 裕史 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>認定心理士の単位を取得するために必要な心理学と周辺領域の科目を取り扱い、必要に応じて柔軟に内容を調整しながら知識の深化と定着ができるようになる。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>試験素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10% その他提出物等を勘案し総合的に評価する</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p><参考図書> 心理学検定基本キーワード集(日本心理学諸学会連合) 公認心理師必携テキスト(学研) 等</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>参考資料や授業で紹介された著作を積極的に読み、主体的な学習をすることで不足する部分を補うことが望ましい。</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>大手前大学現代社会学部の通信教育カリキュラムにおける認定心理士の科目を中心に取り扱う。2級キャリアコンサルティング技能士の受験資格にもかかわる部分なので、丁寧に学習してほしい。</p> | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 16 回 | 演習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を 積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第 17 回 | 演習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を 積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第 18 回 | 演習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を 積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第 19 回 | 演習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を 積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |
| 第 20 回 | 演習 形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を 積極的に読んでおくこと | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|----------------|-----------------------------|
| 第21回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第22回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第23回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第24回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第25回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第26回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第27回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第28回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第29回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |
| 第30回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 応用心理領域において求められる知識や技術を、科目の枠に縛ることなく柔軟に活用できる力を身につける。 | 指定テキスト PC 等 | 配布資料 紹介された図書を積極的に読んでおくこと |
| | | 各コマにおける授業予定 | 応用心理領域に関連する内容を、学生が履修する科目に合わせて調整しながら実施する。 | | |